

北海道浮魚ニュース

令和元(2019)年度 11号

2019年7月31日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

令和元年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）発表される

7月31日、水産庁より令和元年度サンマ長期漁海況予報（道東～常磐海域）が発表されたので概要をお知らせします。なお、この予報は関係試験研究機関による資源調査結果等を踏まえて、東北区水産研究所が取りまとめました。

予報文の詳細は、以下のサイトでご覧になれます。

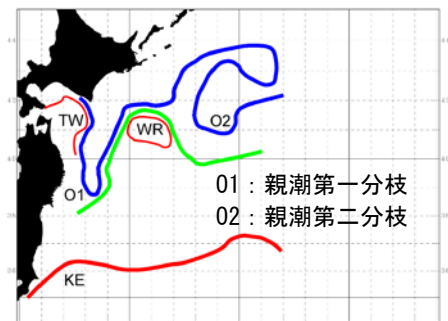
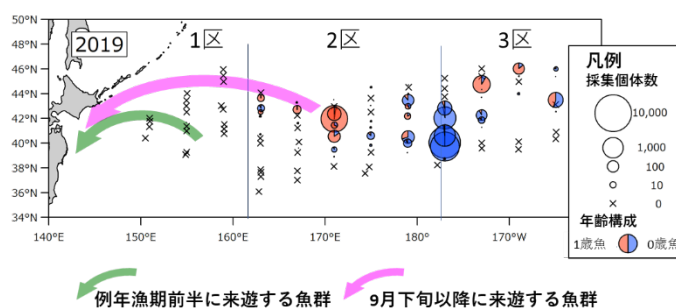
水産庁：<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/190731.html>

今後の見通しのポイント

（漁況：令和元年8月から12月まで、海況：令和元年8月及び9月）

対象海域：北西太平洋（道東海域から常磐海域）、対象漁業：サンマ棒受網

- 漁期全体の来遊量は前年を下回る。9月中旬までの来遊量は極めて低調に推移するが、9月下旬以降に増加する。
- 漁期を通じて1歳魚（漁期前調査時：27cm以上、漁期中：29cm以上）の割合が前年より低い。
- 大型船が出漁する8月下旬の主漁場は択捉島以北の海域に分散して形成される。
- 魚群は親潮第二分枝に沿って南下すると考えられ、漁場は沖合を中心に形成される。道東沿岸の親潮第一分枝沿いでは漁場がほとんど形成されない。
- 三陸海域への南下は例年より遅れ、漁場形成は10月下旬となる。



令和元年6月～7月に行ったサンマ分布調査の結果 海況の今後の見通し（8月中旬）

（釧路水産試験場 調査研究部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）